



2013 年(平成 25 年) 7 月 12 日

第 65 号

発行



一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL (06) 6419-3897

FAX (06) 6419-3899

E-mail: ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

『いろいろな思い』

会長 井上 三枝子

昨年度から福祉サービス利用者には利用計画を作成することになり、福祉サービスを組み合わせることによって本人が希望する生活を送ることを目的としています。

しかし、知的障害の方や自閉症の方は意思が伝えにくく、障害特性として表情や行動から心が見えにくく、何も思っていない何も感じていない、また言葉を持っていないとさえ思われがちです。本人の思いをどのように引き出すのか？その答に近づくため昨年 12 月、自閉症で言葉でのコミュニケーションが難しいけれども文字盤で思いを伝え、また本を出版している東田直樹さんとお母様の美紀様の講演会を行いました。ご参加頂いた方も多いと思います。

独特のイントネーションによる直樹さんの講演でしたが、会場からの質問には文字盤によりの確に答えその語彙の多さに驚きました。

どんな人にも意思があるということを断言しているお母様の言葉をお聞きし、表面に現れて

いる問題行動とされる言動は本人の気持ちとは関係なく表れていることもあるということを認識した上で、これからは意思を引き出す機器や方法を検証し広めていきたいと思っています。

また、成年後見人がつければ選挙権がなくなることと定めた公職選挙法は違憲だとして約 2 年前から全国 4 ケ所で裁判が行われていましたが、先日の衆議院本会議で公職選挙法改正案が可決されました。次の参議院本会議で成立する見通で、このことによって成年後見人制度を利用している方でも選挙に行くことが出来るようになります。

この選挙権回復運動に対しては、全国の育成会が力を合わせ 41 万人の署名をあとめ、また関係団体をはじめ議員の方々にも多大なご尽力いただき実を結ぶことが出来ました。皆様のご協力本当に有難うございました。

(平成 25 年 5 月 24 日総会挨拶より抜粋)

~~~~~

### \*~昨年より始まったAプロジェクトの今年度の目標です!~\*

#### ☆チームⅠ

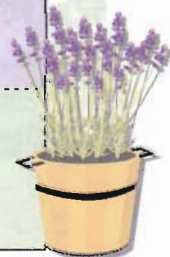
(中期)地域の児童、保護者、先生方への啓発。地域の人に自分の子どもを知ってもらおう…冊子作成予定

#### ☆チームⅡ

- \*防災について…・防災非常持ち出しグッズチェックリストの発行 ・簡易トイレについて検討する
- ・各事業所の備蓄用品、避難経路、緊急時のメール発信について今後検討する
- \*ケアホーム…見学会と事業所との懇談会を実施

#### ☆チームⅢ

- (短期)ガイドヘルパー養成講座： 11 月頃実施、特別養護老人ホームの見学： 8 月と 12 月予定
- (中期)成年後見制度啓発。親なきあとの育成会の取り組みを考える
- (長期)小規模入所または複合施設の建設→5 年後完成目標





## 「あこや学園創立50周年」に寄せて

園長 大住 秀雄

あこや学園創立50周年という記念の年に園長として携われることを光栄に思いますとともに、今まで多大なご支援をいただきました方々に感謝申し上げます。

50周年を迎えるにあたり、過去の記念誌などを読み返したり、関係者からお話を伺ったりし、改めて諸先輩方のご尽力の積み重ねがあって、学園の今日があることを改めて感じています。

昭和38年、就学猶予や免除の措置のもとに家庭での生活を余儀なくされてきた子どもたちが毎日通える施設としてあこや学園は誕生しました。それから50年、児童福祉法改正のもと、児童発達支援センターとして、園児やその家族に対する支援を行いながら、学園の専門機能を活かし、地域の発達に遅れを持つ子どもやその家族への相談、子どもを預かる施設への援助・助言を合わせて行うなど、地域の中核的な療育支援施設として、新たな一歩を踏み出そうとしています。

施設種別は変わりましたが、これまでの歳月に刻まれてきた学園への「願い」「思い」を大切にしながら、これからも、地域の全ての子ども



H25年5月17日 50周年記念式典

たちに「健やかに育て」の思いを込めて、力を注いでいきたいと思っています。

また、あこや学園の2階廊下に、50年分の記念写真を飾っています。たまには懐かしい1枚を見に来ていただき、昔話などお聞かせいただければ幸いです。

(\*)

### 児童発達支援センター（たじかの園、あこや学園）

◆通所支援のほか、身近な地域の障害児支援の拠点として、

- ①地域に住む障害児や家族への支援
- ②地域の障害児を預かる施設に対する支援を実施するなどの地域支援を実施

◆関係機関と連携を図りながら重層的な支援を提供するとともに、児童発達支援事業との支援ネットワークを形成するなど、地域支援体制を強化

### 児童発達支援事業（放課後等ディサービス）

- ◇専ら通所利用の障害児に対する支援を行う身近な療育の場として位置づけ
- ◇児童発達支援センターよりも緩やかな実施基準とし、児童発達支援事業の設置を促進
- ◇児童発達支援センターとの支援ネットワークにより地域をカバー（児童発達支援センターからの支援等により質も向上）





## ともに共生社会を目指して

尼崎市障害者自立支援協議会 会長  
 関西国際大学 教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻  
 講師 木下 隆志



**\*2** 自立支援協議会は<sup>しょうがい</sup>障害に関する諸団体が意見を出し合い、障害のある方を真ん中に、さまざまな関係機関等との連携を取りながら、地域で支えるシステムを創造する役割があると解しています。

みなさまもご存じのとおり、日本の福祉政策は地域福祉を中心に、「共助」に重きが置かれるようになりました。これにより、行政のインシアチブ（公助）が後退するのではないかと多少の懸念はありますが、当面はこの流れが進むように思います。そこで、私たち「共助」を軸とする協議体の役割は益々重要になるでしょう。

尼崎市手をつなぐ育成会会長の井上様も 64 号の機関紙にて、「共生社会」と「共助」についてその大切さを掲載されておりました。私達が求められる具体的な行動がこの言葉に秘め

られていると思います。

制度改革が進められている今だからこそ、しっかりとビジョンを持つ必要があるでしょう。その点、貴会のこれまでの活動と情勢を把握する先見性に学ばせて頂くことが多くあります。

貴会が目指す「共生社会」とは、自分らしく生きていけること、生きていく力を身に付けること、そして、自分らしく生きていけるような社会であること、また、生き方を尊重し合える多様性を認めあえる社会であることだと思います。その目指す先は私達の目標でもあります。

尼崎市自立支援協議会はそういった共生社会を構築する推進役です。今後ともみなさまと力を合わせて一歩前進の協議会にしてまいります。貴法人の益々の発展を祈っております。

(\*2)

### 自立支援協議会とは？

地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し「障害のある人もない人も地域で支え合いながら、その人らしく暮らす地域づくり」を協議する場です。尼崎市では 3 つの部会に分かれています。

#### ☆あまっご部会

障害のある児童の療育、生活支援等の課題等について協議する部会です。

事務局：尼崎市立たじかの園

(育成会参画)



#### ☆あまのしごと部会

障害のある人の就労を支援するための課題等について協議する部会です。

事務局：就労支援センターみのり

#### ☆あまのくらし部会

障害のある人への地域生活を支援するための課題等について協議する部会です。

事務局：相談支援センター福ねっと

(育成会参画)



「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」等の作者である東田直樹さんとお母様の美紀さんの講演会に、来賓13名、会員122名、一般30名が参加しました。お二人の話聞いて、驚き、感動し、改めて我が子の可能性を見つめ直す人や、支援や教育の仕方を考え直そうと思った人が多かったのではないのでしょうか。その一部を紹介します。

心身障害児(者)父母連合会 主催  
**父と母の学校**  
平成24年12月5日 尾崎商工会議所



## 東田直樹さん

### 「自閉症の僕が語る自閉症の世界」

#### ①会話ができないことについて

- コミュニケーションがとれないということは、誰とも心を通わせられないということではないか。自分の意思通りに行動できないので人から誤解を受けることも多い。僕であって僕ではない人間を、みんなが見ているのはとても辛いこと。

#### ②文字盤ポインティングについて

- (1) 言いたかった単語を思い出すために、文字盤やパソコンのキーボードを見る。
- (2) 気になる文字が目にとまる。例えば「K」。Kが見つかったら、KA、KI、KU、KE、KOが、頭の中に現れる。
- (3) その中から、最初の文字が見つかる。それが「KA」なら、文字盤のアルファベット「K」、「A」を指す。すると、かさ、かき、かく、かわいいなど、KAで始まる単語が、頭の中に現れる。

(4) この中から、言いたかった単語の「かく(書く)」が見つかる。

#### ③パニックのとき

- パニックになったときには、自分や他の人を傷つけることがないように見守って。
- パニックが終わった後で、自己嫌悪に陥るから。本人の気持ちにそった言葉かけをして、やさしいまなざしで、いてください。
- パニックを起こす人を見て泣かないで…心配で余計パニックがひどくなるから。
- お説教されても直せない。本人も反省しているので、そっとしてほしい。

#### ④直樹さんからのメッセージ

- 自閉症は、誰のせいでもない。命のバトンを受け継ぐ中で、たまたま僕の順番のとき変異が起きた。自閉症だから、不幸なのではない。



## 東田美紀さん

### 「わが子の可能性を信じる子育て」

#### \*援助されての筆談だと書ける訳

- 話せない自閉症者は、思考しながら、表現するという、ふたつのことを同時にやろうとしたとたん、これをつないでいる脳の回路が遮断されるのではないかな。
- 援助されて筆談する場合、当事者は全神経を書くことにつかかわなくてもいい、いわば楽に書けている状態になっているから、思考しながら表現する脳の回路が、完全に遮断されずに残っているのではないだろうか。

#### \*可能性を信じる子育て

- 私にとって、重要なのは「直樹が自閉症である」ということ以上に、直樹が毎日、何を考えて、どんなことを感じているのか、そして、どのような人生を送りたいと願っているかということ。
- 可能性を信じる子育てとは、目の前にいる子供と、

子供の未来を信じ、自分にできることを一生懸命やることだと思っている。

#### \*家庭において重要なこと

- 家庭とは、自分の好きな遊びや心地いい時間を送ることが満足できるまでやれる、それと同時に、自分にもちゃんと役割があり、役割を果たすことで家族が喜んでくれる、自分が必要とされていることが実感できる、そんな場所だと思う。

#### \*先生や支援者の方へ

- 子供の安定した生活を保障するためには、まず親御さんを支える必要がある。
- 療育者としての観察力やテクニックは重要だが、それがすべてではないと思う。
- できないことをできるようにするだけでなく、心を癒すということも、療育の大切な役割ではないか。



# 質疑応答より

## ：直樹さんの答え方：

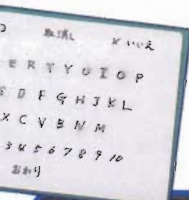
文字盤を押さえ、押さえたその文字を一つずつ声に出しながら、マイクを使って回答

**Q.** 20 才の自閉症の息子が耳を塞ぐことがあるのでお聞きしますが、気になる音とはどんな音でしょうか？

**A.** 気になる音というのは人によって違うと思います。僕の場合は大勢の人がザワザワしている音が苦手です。仕方がないので我慢しています。誰でも少しずつ慣れてくるとと思いますが、その間は優しく見守ってあげてください。



直樹さん使用の文字盤



**Q.** 自閉症の息子のために毎日の見通しが大事だと、カレンダーに予定を書いています。東田さんは書いていますか？

**A.** 僕は書いていません。なぜならカレンダーに予定を書くことが新たなこだわりになるからです。予定を見ると安心するのではなく、書けていることに安心するのです。だから理由はそういうことです。



**Q.** まだ息子は小さいのですが、よく怒ってしまいます。小さい時の記憶は今でも強くありますか？

**A.** 小さいころの思い出は心に残ります。僕は小さい時にどれだけ大事にしてもらえたかによって自己肯定感が育つと思います。でも今からでも遅くはありません。ぜひお子さんに気持ちを伝えてあげてください。



## \* 「東田直樹さんを迎えて」

先日の「父と母の学校」にはみなさん参加なさいましたでしょうか？

千葉県より東田直樹さんとお母様の美紀さんを迎えての講演でしたが、カルチャーショックを受けた方、たくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、「自閉症の僕が語る自閉症の世界」では、直樹さんがパワーポイントを使って口頭(独特の高いピッチで一本調子のきわめて早い口調で)で発表し、会場からの質問には文字盤を押さえながら、逐語、声を出してゆっくり答えてくれました。会場からの質問、聞いてないように見えましたよね…。実はちゃんと聞いておられて、回答も的確に20歳の男性としての言葉を使って答えておられた。これがすごいです。

続いての「わが子の可能性を信じる子育て」では、お母様の美紀さんがパワーポイントで今までの子育てを振り返りながら、今までやってきたこと、直樹さんができるようになってきた過程などを教えていただきました。

「筆談で直樹の気持ちを表現しても、親が手を添えているので、書かせているのでは？と信じてもらえなかった」「専門家に見せても、”お母さんが診てもらったほうが…”と私が熱心なあまりおかしくなったのだと、暗に言われた」「だからこそ、文字盤ポイントという手法を使い、一人で内面を表現できるように訓練して、本人の本当の気持ちがちゃんとここにあるんだと証明したかった」とおっしゃっていました。

私が一番心に残った文言は、

「この子が毎日、何を考えて、どんなことを感じているのか、そしてどのような人生を送りたいと願っているのか」ということを問い続けることが一番重要だ、という言葉でした。

みなさんはいかがでしたか？それではまた(^.^)

(12月10日 鳥居発メルマガより)





### 学齢期 ミニまつり

平成25年3月31日

第3回目を迎えたミニまつり。

今回はいつもの手作りゲームのほかに、育成会のお母さんの有志が演奏するハンドベルの音色も楽しみました。そして、音楽療法士の渡瀬先生率いるユニット「A・beeらんち」のコンサートでは、一緒に体操をしたり、マリオゲームの効果音を鍵盤ハーモニカで再現してくださるコーナーがあったり、阿部先生扮する海賊が出てきたりと、あっという間の2時間でした。ゲームをしたらお菓子ももらえてみんな大満足！またみんなで楽しく過ごしたいですね。(鳥居)

平成24年8月18日



### 幸せを分つ会 バスツアーに参加して

中央地区 津 玲子

夏休みの一日、初めての乗馬ツアーに参加しました。豪華なバスに家族は大興奮!「バスの移動、長いんかなあ」と少々不安げにしていた小学生の上の息子も、車中でのビンゴ大会に大いに盛り上がり、飽きることなく道中を過ごすことができました。

今回は家族4人で参加させていただいたのですが、全員、本物の馬に触れるのは初めて。到着後、馬房を通る時には、「なんだか大きくて怖いねえ」「こっち見てよ」とコソコソ話をしていました。それが、馬の泳ぐ姿を見たとき子ども達は「すげー!」と歓声を上げ、馬のカッコ良さに釘付けに!いざ乗るといふ時には上の息子は果敢に挑戦し、5歳になる下の息子も最初は怖がっていましたが、乗ってみるとニッコリと笑顔が出ていました。本当によい経験をさせていただいたと思います。それから、お昼にいただいた焼肉はすごくおいしくてビックリしました。ご馳走様でした。

帰りも、地元の歌手の方との交流があり、盆踊りを踊ったり素敵な歌を聞かせていただいたりと楽しい一時を過ごすことができました。丸一日、サポートしてくださいました乗馬クラブの皆様、そして何より幸せを分つ会の皆様に感謝いたします。暑い日でしたが、心に残る夏休みのよい思い出ができました。ありがとうございました。



A・beeらんち

### 成年期部会 平成24年11月15日

#### 「雷テクノロジーセンター見学」

もっと尼崎を知ろう!ということで始めた企画「尼崎再発見!」。その第一弾として、日本で唯一の雷対策の専門メーカー音羽電機工業(株)の実験施設「雷テクノロジーセンター」に行ってきました。ここでは、雷の発生のしくみを学び、雷の疑似体験をすることで、雷の世界に触れることができます。目の前で直撃雷の実験を見て大きな音に驚くも、もう一度見たい!との声がかかり、2回も実験をして頂きました。ミュージアムも併設しており、雷対策製品や雷にちなんだグッズも数多く展示されています。いろいろな質問にも丁寧に答えて下さり、気持ちよく見学をするこ

とが出来ました。施設も人も尼崎が誇れる会社でした。これから雷の季節です。学んだことで、雷から身を守りましょう! (山本)





平成 24 年度に次のような要望書を提出しました

尼崎市長

稲村和美様

要望書

- 1. 尼崎市内に知的障害児・者のニーズに対応した複合施設の建設
- 1. 幼児期から成人期にわたる生涯サポート体制の確立
- 1. 市立高校で、障害特性に合わせた個別支援教育の実施
- 1. 特別支援学級にタブレット端末の導入
- 1. 知的障害児・者に係る人材育成
- 1. 権利擁護センターの設置
- 1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置
- 1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応
- 1. 入所施設利用者が一時帰宅中に移動支援の利用を可能に
- 1. 尼崎市立産業高等学校跡地に開設する県立病院で、障害のある人がどの診療科でも治療を受けやすい体制に

高齢化、医療ケアに対応した施設、緊急時のショートステイ、ケアホームの前段階としての訓練的なショートステイを併設した施設をめざしています。



複合施設建設

|            |            |      |      |     |                  |                  |
|------------|------------|------|------|-----|------------------|------------------|
| 個室         | 個室         | 個室   | 個室   | 支援員 | 台所               | 風呂<br>洗面所<br>トイレ |
| 個室         | 個室         | 個室   | 個室   | 支援員 | 台所               | 風呂<br>洗面所<br>トイレ |
| ショート       | ショート       | ショート | ショート | 支援員 | 台所               | 風呂<br>洗面所<br>トイレ |
| 日中一時<br>支援 | 居宅介護<br>事業 | 相談支援 | 看護室  | 台所  | 風呂<br>洗面所<br>トイレ |                  |



＊おめでとうございます＊

兵庫県功労者表彰

井上 三枝子 会長

平成25年5月兵庫県公館において、県知事より、公共の福祉増進に功労があり、県民の模範となる方として、功労者表彰を受賞されました。



＊おめでとうございます＊

兵庫県知事表彰

第61回兵庫県社会福祉大会において、勤続20年以上に対する兵庫県知事表彰を受賞されました。

村上 順 様、伊吹 英幸 様  
橋本 義男 様、前田 康裕 様

＊賛助会員＊

平成24年度 下記の方より賛助金をいただきました。

松田 真 様、宮前 典幸 様、高畑 潤 様  
加藤 泰子 様、森 康祐 様、宮下 哲 様  
大友 昭吾 様、梅本百合子様、田中 伸治 様  
工藤 鋼三 様、井上 正夫 様

ありがとうございました





眞殿 まつば 相木 清流園 山本 塚口

# 平成25年度の理事を紹介します



## 施設理事



バコパ

## 地区理事

勝間 杭瀬 あいあい 西中川 かがやき 増田



立花武庫 田中 中央大庄 岩永 小田園田 宮城 西村 村田

井上恵 井吉岡 山本 日野



フーゲンベリア

## 本部役員



野鳥加泉上 間居藤村



## 監事

霜近山 倉友畑

## 書記

原竹石 田田井



キンギョソウ



ブルーサルビア

### \* 編集後記 \*

東田さんの研修を受けて、親として本当に子どもの気持ちに寄り添っているだろうか？と自問するようになりました。毎日、時間に追われて生活していると忘れがちですが、時々振り返らなければならないテーマだなと思いました。

(鳥居、編集:上村)